

- 14) 田口 洋: 上顎犬歯の萌出障害. 平成15年度第2回新潟大学歯学部助講会講演会, 新潟, 2003年12月17日.
- 15) 野田 忠: 「食べる」まとめ. 平成15年度全学共通科目「食べるII 楽しく食べる」, 新潟, 2004年1月30日.
- 16) 田邊義浩: 小児の顎発育と咬合誘導. 平成15年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟, 2004年2月4日.

### 顎顔面放射線学分野

#### 【論文】

- 1) 長濱航永, 豊里 晃, 竹内由一, 植田耕一郎, 林孝文, 野村修一: 嚥下造影検査における皮膚吸収線量の測定. 新潟歯学会雑誌, 33(2): 197-201, 2003.
- 2) 興地隆史, 福島正義, 葭原明弘, 子田晃一, 小野和宏, 小林 博, 魚島勝美, 小山純市, 植田耕一郎, 高木律男, 前田健康, 花田晃治: 本学歯学部卒前教育における客観的臨床能力試験(OSCE)の導入. 日本歯科医学教育学会雑誌, 18(2): 300-307, 2003.
- 3) 田中 礼, 林 孝文: 下顎の非対称性と下顎頭に対する顎関節円板の位置との関係 - ヘリカルCTによる下顎骨の三次元距離計測とMRIによる検討 - . 日顎変形誌, 13(1): 12-20, 2003.
- 4) Hayashi T, Ito J, Taira S, Katsura K, Shingaki S, Hoshina H.: The clinical significance of follow-up sonography in the detection of cervical lymph node metastases in patients with stage I or II squamous cell carcinoma of the tongue. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod, 96(1): 112-117, 2003.
- 5) Kobayashi F, Ito J, Hayashi T, Maeda T.: A study of volumetric visualization and quantitative evaluation of bone trabeculae in helical CT. Dentomaxillofac Radiol, 32(3): 181-185, 2003.
- 6) Tsuruta A, Yamada K, Hanada K, Hosogai A, Tanaka R, Koyama J, Hayashi T.: Thickness of the roof of the glenoid fossa and condylar bone change: a CT study. Dentomaxillofac Radiol, 32(4): 217-221, 2003.
- 7) Ikarashi T, Fujimori Y, Ohshiro K, Oda Y, Saito C, Koyama J, Hayashi T, Suzuki M, Saku T.: Dentigerous cyst associated with a supernumerary malformed tooth: report of a case and a clinicopathologic review. Oral Med Pathol, 8(2): 55-59, 2003.
- 8) Yamazaki M, Cheng J, Nomura T, Saito C,

Hayashi T, Saku T. Maxillary odontogenic keratocyst with respiratory epithelium: a case report. J Oral Pathol Med, 32(8): 496-498, 2003.

- 9) Hayashi T, Tanaka R, Taira S, Koyama J, Katsura K, Kobayashi F. Non-contrast-enhanced CT findings of high attenuation within metastatic cervical lymph nodes in patients with stage I or II tongue carcinoma during a follow-up period. AJNR Am J Neuroradiol, 24(7): 1330-1333, 2003.

#### 【講演・シンポジウム】

- 1) 林 孝文: 舌リンパ節転移の画像診断. 第46回日本口腔科学会中部地方部会教育講演, 2003年9月20日, 名古屋市, 2003年.
- 2) 林 孝文: 顎部リンパ節の描出法と読影. 日本歯科放射線学会実技研修会, 2003年9月21日, 名古屋市, 2003年.
- 3) 林 孝文: パノラマエックス線写真の読影のポイント. 岩船郡村上市歯科医師会学術講演会, 2003年11月8日, 村上市, 2003年.
- 4) 林 孝文: 顎部リンパ節転移の画像診断 - 特にNO症例の経過観察について - . 北信越顎頭頸部腫瘍懇話会, 2003年12月2日, 長野市, 2003年.
- 5) 林 孝文: 混合歯列期の学童の顎関節内障について - 超音波診断による検討 - . 小児口腔科学分野セミナー, 2004年3月9日, 新潟市(学内), 2004年.

#### 【学会発表】

- 1) 林 孝文: 舌癌の口腔内超音波所見と顎部リンパ節転移との関係. 第62回日本医学放射線学会学術発表会, 横浜市, 2003年4月11日, 2003年.
- 2) 勝良剛詞, 益子典子, 林 孝文: 下顎骨放射線骨壊死の危険因子 - 歯科管理の必要性 - . 第36回新潟歯学会総会, 新潟市, 新潟歯学会雑誌, 33(1): 75, 2003年4月19日, 2003年.
- 3) 田中 礼, 林 孝文, 益子典子, 勝良剛詞, 平 周三: Aggressiveな増殖を繰り返した石灰化歯原性嚢胞の1例. 日本歯科放射線学会第8回臨床画像大会, 新潟市, 2003年5月30日, 歯科放射線, 43(4): 236, 2003年.
- 4) 小林富貴子, 林 孝文: 上顎臼歯部インプラント術前・術後の画像的検討. 日本歯科放射線学会第8回臨床画像大会, 新潟市, 2003年5月30日, 歯科放射線, 43(4): 237, 2003年.
- 5) 平 周三, 林 孝文, 勝良剛詞, 小林富貴子, 中島俊一, 益子典子, 小山純市, 田中 礼: 下顎枝舌側にみられた静止性骨空洞の2症例. 日本歯科放射線学会第8回臨床画像大会, 新潟市, 2003年5月30日,

- 歯科放射線, 43(4): 230, 2003年.
- 6) 勝良剛詞, 平 周三, 益子典子, 中島俊一, 林 孝文: 口腔癌治療後にCTで顎動脈周囲に認められた hypodense area. 日本歯科放射線学会第8回臨床画像大会, 新潟市, 2003年5月30日, 歯科放射線, 43(4): 239, 2003年.
- 7) 勝良剛詞, 林 孝文, 益子典子, 佐藤克郎, 佐藤雄一郎, 杉田 公, 星名秀行, 新垣 晋: 放射線治療後の頭頸部癌患者に対する照射野内の抜歯. 第27回日本頭頸部腫瘍学会, 2003年6月27日, 金沢市, 2003年.
- 8) 林 孝文, 勝良剛詞: 角質変性の検出により後発頸部リンパ節転移を診断し得た舌癌の3例 - USと単純CTによる経時的評価 -. 第27回日本頭頸部腫瘍学会, 2003年6月27日, 金沢市, 2003年.
- 9) 若松孝典, 斉藤 功, 花田晃治, 林 孝文: 偏位顎症例における顎骨非対称の三次元的評価法. 第13回日本顎変形症学会総会, 札幌市, 2003年6月27日, 日顎変形誌, 13(3): 223-224, 2003年.
- 10) 川原のぞみ, 森田修一, 星 隆夫, 花田晃治, 林 孝文: 骨格性下顎前突症患者における術前・術後の下顎骨と舌骨の位置関係について - CT画像による検討 -. 第13回日本顎変形症学会総会, 札幌市, 2003年6月27日, 日顎変形誌, 13(3): 217, 2003年.
- 11) 田中 礼, 林 孝文, 川原のぞみ: skeletal Class II症例の顎形態の検討 - CTによる三次元計測 -. 第13回日本顎変形症学会総会, 札幌市, 2003年6月27日, 日顎変形誌, 13(3): 192-193, 2003年.
- 12) 西山秀昌, 田中 礼, 林 孝文, 笹井正思, 古川惣平: 顎関節MRIにおける中間開口位での円板状態と下顎頭運動の左右比較. 日本歯科放射線学会第194回関東地方会・第23回北日本地方会・第11回合同地方会, 東京, 2003年6月28日, 歯科放射線, 43(3): 140, 2003年.
- 13) 小山純市, 小林富貴子, 林 孝文, 山田一尋, 花田晃治, 小林龍彰, 高木律男, 西山秀昌: 顎関節症例における下顎頭骨変化の経時的観察. 第16回日本顎関節学会総会, 2003年7月10日, 鹿児島市, 2003年.
- 14) 高田佳之, 小林正治, 斉藤 力, 林 孝文: 明らかな原因が不明の開口障害と咀嚼筋肥大を呈する2例. 第16回日本顎関節学会総会, 2003年7月10日, 鹿児島市, 2003年.
- 15) 林 孝文, 西山秀昌, 小山純市, 小林富貴子, 田中礼: 両側非復位性関節円板転位症例における下顎頭のbone marrow edemaについて. 第16回日本顎関節学会総会, 2003年7月10日, 鹿児島市, 2003年.
- 16) 長濱航永, 豊里 晃, 竹内由一, 植田耕一郎, 林 孝文, 野村修一: 嚥下造影検査における被曝線量の測定. 平成15年度新潟歯学会第1回例会, 新潟市, 2003年7月12日, 新潟歯学会雑誌, 33(2): 126, 2003年.
- 17) 竹内由一, 長濱航永, 林 孝文: 過去24年間における当科口内法撮影による患者被曝線量の推移. 平成15年度新潟歯学会第1回例会, 新潟市, 2003年7月12日, 新潟歯学会雑誌, 33(2): 127, 2003年.
- 18) 勝良剛詞, 益子典子, 平 周三, 林 孝文: 放射線骨壊死の危険因子 - 口腔管理のシステムの必要性 -. 第44回日本歯科放射線学会総会, 札幌市, 2003年10月3日, 歯科放射線, 43(増刊号): 31, 2003年.
- 19) 小山純市, 林 孝文, 西山秀昌, 小林富貴子: 下顎後退を伴う上顎前突症例における顎関節骨変化の検討; 両側下顎枝分割骨切り術前後での比較. 第44回日本歯科放射線学会総会, 札幌市, 2003年10月3日, 歯科放射線, 43(増刊号): 70, 2003年.
- 20) 林 孝文, 西山秀昌, 田中 礼, 小山純市, 平 周三, 勝良剛詞: 口腔癌の顎部郭清術後に出現した結節状構造のUS・CT所見. 第44回日本歯科放射線学会総会, 札幌市, 2003年10月3日, 歯科放射線, 43(増刊号): 35, 2003年.
- 21) 田中 礼, 林 孝文, 西山秀昌, 小山純市, 平 周三, 勝良剛詞, 益子典子, 小林富貴子: skeletal Class II症例における下顎形態の評価 - CTによる三次元計測 -. 第44回日本歯科放射線学会総会, 札幌市, 2003年10月3日, 歯科放射線, 43(増刊号): 37, 2003年.
- 22) 西山秀昌, 林 孝文, 田中 礼, 小山純市, 笹井正思, 古川惣平: MRIでの段階的開口位における下顎頭内外側極のうごきについて. 第44回日本歯科放射線学会総会, 札幌市, 2003年10月3日, 歯科放射線, 43(増刊号): 46, 2003年.
- 23) 川原のぞみ, 森田修一, 星 隆夫, 花田晃治, 林 孝文: 骨格性下顎前突症患者における術前・術後の下顎骨と舌骨との位置関係について. 平成15年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2003年11月8日, 新潟歯学会雑誌, 33(2): 128, 2003年.
- 24) 勝良剛詞, 林 孝文: 口腔癌顎部廓清後のCT所見. 平成15年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2003年11月8日, 新潟歯学会雑誌, 33(2): 134, 2003年.
- 25) 新垣 晋, 星名秀行, 林 孝文: 口腔腫瘍外来の現況. 平成15年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2003年11月8日, 新潟歯学会雑誌, 33(2): 135, 2003年.
- 26) 勝良剛詞, 益子典子, 笹井啓資, 林 孝文: 下顎骨放射線骨壊死の危険因子 - 歯科管理の必要性 -. 第16回日本放射線腫瘍学会, 東京, 2003年11月21日,

日本放射線腫瘍学会誌, 15(1): 116, 2003年.

- 27) 勝良剛詞, 平 周三, 西山秀昌, 小林富貴子, 中島俊一, 益子典子, 小山純市, 田中 礼, 林 孝文: 口腔癌頸部廓清後のCT所見 - 非再発症例を中心に -. 第93回新潟臨床放射線学会, 新潟市, 2003年12月13日, 2003年.
- 28) 平 周三, 勝良剛詞, 西山秀昌, 小林富貴子, 中島俊一, 益子典子, 小山純市, 田中 礼, 林 孝文: 下顎枝舌側にみられた静止性骨空洞 (発育性骨欠損). 第93回新潟臨床放射線学会, 新潟市, 2003年12月13日, 2003年.
- 29) 林 孝文: ワークショップ・早期舌癌の深達度と評価 (USと病理組織像との関連) 正常舌粘膜の超音波所見. 第22回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 2004年1月23日, 金沢市, 2004年.
- 30) 林 孝文: 舌リンパ節転移の超音波所見. 第23回日本画像医学会, 2004年2月20日~21日, 東京, 2004年.

#### 【研究会発表】

- 1) 小山純市, 林 孝文, 小林富貴子, 益子典子: 顎関節造影でperforationを検出し得た顎関節内障の1例. 第49回新潟画像医学研究会, 2003年6月28日, 長岡市, 2003年.
- 2) 益子典子, 田中 礼, 小山純市, 平 周三, 勝良剛詞, 中島俊一, 小林富貴子, 林 孝文: 口蓋の多形性腺腫の鑑別診断. 第50回新潟画像医学研究会, 2003年11月1日, 新潟市, 2003年.
- 3) 林 孝文, 田中 礼, 小山純市, 平 周三, 勝良剛詞, 益子典子, 西山秀昌: 口腔癌の頸部廓清術後に出現した結節状構造の画像所見. 第50回新潟画像医学研究会, 2003年11月1日, 新潟市, 2003年.

#### 【研究成果報告書】

- 1) 研究代表者 林 孝文: 口腔癌頸部リンパ節転移診断におけるらせん走査型CTの至適撮影条件の検討. 2001年~2004年度科学研究費補助金, 基盤研究(C)(2), 課題番号13671965.
- 2) 研究代表者 小林富貴子: 顎・顔面領域における多列検出器CTの臨床応用に関する研究. 2001年~2004年度科学研究費補助金, 基盤研究(C)(2), 課題番号13671964.
- 3) 研究代表者 勝良剛詞: 癌・放射線治療による晩期有害事象のリスクファクターの特定と予防管理システムの考案. 2003年~2004年度科学研究費補助金, 若手研究(B), 課題番号15791072-00.

#### 摂食・嚥下障害学分野

##### 【論文】

- 1) Ueda K, Toyosato A, Nomura S: A study on the effects of short-, medium- and long-term professional oral care in elderly persons requiring long-term nursing care at chronic or maintenance stage of illness, Gerodontology, 20(1) 50-56, 2003.
- 2) Ueda K, Yamada Y, Toyosato A, Nomura S, Saitho E: Effects of functional training of dysphagia to prevent pneumonia for patients on tube feeding, Gerodontology, 20(1) 23-26, 2003.
- 3) Ootaki S, Yamamura K, Amarasena JK, Kurose M, Yamada Y: Activity of peri-oral facial muscles and its coordination with jaw muscles during ingestive behavior in awake rabbit, Brain Reserch, 19(1001) 22-36, 2004.
- 4) Monya M, Igarashi A, Asatsuma M, Watanabe M, Takeishi H, Nomura S: Increase in the level of TIMP-1 in saliva by oral administration of zinc in patients with taste disorder due to zinc deficiency. Jpn. J. Gerodontology 18(1) 3-8, 2003.
- 5) Asatsuma M, Ito S, Watanabe M, Takeishi H, Nomura S, Wada Y, Nakano N, Gejyo F, Igarashi A: Increase in the ratio of matrix metalloproteinase (MMP)9 to tissue inhibitor of metalloproteinase (TIMP)1 in saliva from patients with primary Sjogrens' syndrome, Clinica Chimica Acta, in press 2004.
- 6) 菅井登志子, 豊里 晃, 植田耕一郎, 田澤貴弘, 加藤直子, 浅妻真澄, 杉田佳織, 小森祐子, 田巻元子, 野村修一: 加齢歯科診療室における病連携歯科治療の現状, 新潟市歯学会誌, 33(1) 11-14, 2003.
- 7) 長澤麻沙子, 斎藤和幸, 中村公彦, 豊里 晃, 野村修一: 介護食用増粘剤, ゲル化剤の嚥下しやすさ, 新潟市歯学会誌, 33(2) 25-29, 2003.
- 8) 長濱航永, 豊里 晃, 竹内由一, 植田耕一郎, 林孝文, 野村修一: 嚥下造影検査における皮膚吸収線の測定, 新潟市歯学会誌, 33(2) 31-35, 2003.
- 9) 伊藤加代子, 野村修一: 口腔乾燥症患者のリハビリテーション 口腔乾燥に伴う摂食・嚥下障害, 看護学雑誌.67(12): 1186-1188, 2003.
- 10) 伊藤加代子, 野村修一: 口腔乾燥症患者のリハビリテーション, 口腔機能のリハビリテーション, 看護学雑誌.67(12):1188-1190, 2003.
- 11) 伊藤 聡, 村上修一, 黒田 毅, 浅妻真澄, 五十嵐敦子, 下條文武: 原発性シェーグレン症候群 (SJS) における塩酸セベメリンの治療効果についての検